

目的・
目標

- 在宅ワークなどの新しい働き方を踏まえた進路選択や指導や支援の在り方を検討し、教員の障害のある子どもへのキャリア教育に関する指導力の向上を図る。
- 障害のある子どもたちの活躍の場を企業と共同研究し広報することで、障害者理解の促進を図る。
- 在宅ワークに向けた就業体験の実習等を行い、生徒の就労に向けた意欲や教員のICT活用指導力の向上につなげる。
- 発表会や、企業と連携した広報物の作成・掲示により、社会に対して障害理解を促進していく。

研究
協力校

兵庫県立氷上特別支援学校(知的障害)、
 兵庫県立播磨特別支援学校(知的障害、肢体不自由)、
 兵庫県立和田山特別支援学校(知的障害、肢体不自由)、
 兵庫県立視覚特別支援学校(視覚障害)、
 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校(聴覚障害)、
 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校(聴覚障害)

取組概要



①企業等と連携したICT活用に係る知識・技能の習得(CAD,イラストレーター等)に必要な指導の実践

ア 在宅ワークに関する「しごと体験会」

- ・(中学部) オンラインでのコミュニケーション体験(在宅社員、高等部の先輩とのコミュニケーション交流)
- ・(高等部) エクセルを使用した実際の作業体験(在宅勤務社員本人、他校の生徒とのコミュニケーション交流)

イ キャリア教育ピッチ(兵庫県特別支援学校キャリア教育発表会)

プレゼンテーションソフト等を活用し、「兵庫県特別支援学校技能検定」や「実践的・段階的作業学習」等のキャリア教育に関する学習活動を経験して成長したことや、自分自身の将来の夢、目標などを発表



↑ピッチをアーカイブ配信中



ウ 兵庫県特別支援学校技能検定(パソコン部門)

県立特別支援学校高等部の生徒が、自立し社会参加するために、個々の進路希望が実現できるよう、生徒が身に付けた就労に関する力を公的に証明する技能検定を実施

エ 分身ロボットを活用した特別支援学校高等部生徒の就業体験

分身ロボット「OriHime」の操作方法等を習得し、実店舗(カフェ)における「OriHime」を活用した就業体験(接客)



②就労に向けたICTを活用した職場実習

ア ICTを活用した職場体験実習(対面)

開催地域を中心に、実際に障害者雇用の実績がある、もしくは今後雇用を考えている中小企業が、会場校に各社ブースを設置し、自社の仕事内容を生徒達に説明、紹介する。生徒達は事前に紹介されている内容を基に、自分たちの興味がある会社のブースを回り、仕事内容の説明を受けた上で実際に体験

イ 企業等におけるICTを活用した実習

- ・パソコンを使用した事務補助(入力)作業
- ・就労継続支援A型における職場体験実習でWEBアクセシビリティの検索業務
- ・職場体験実習先で集音マイク等のICT機器を使用
- ・企業によるリモートでの出前授業



本事業
の成果

ア ICT活用による企業と連携した取組

「在宅で働く」という新たな働き方があり、実際に在宅でも充分社会とつながりを持って生活していることを教員や保護者が知ることができたことが成果として挙げられる。

イ キャリア教育に関する指導力の向上

学校や障害種を超えた教員同士で、オンライン上で相手へ伝えることの難しさや聞くときの表情について意見交換するなど、ICT人材を育成するにあたっての指導内容などの考えを深める機会となった。

ウ 特別支援教育に関する理解啓発のより一層の推進

「キャリア教育ピッチ」では、発表会場には100人を超える一般参加者が来場し、これまで特別支援教育に関心がなかった参加者が、フォーラム参加後に「特別支援教育に対する理解が深まった」とアンケートで回答するなど、生徒の発表等を聞くことが理解啓発に有効であるということがわかった。

課題と
今後の
展望

ア ICT活用による企業と連携した取組

本県で最も在籍者数の多い知的障害の特別支援学校の場合は、体験的な学びの方が知識の習得がしやすい実態があることなどから、ICTを活用した進路選択の広がりが一部の生徒に限られてしまう可能性があることが課題として挙げられる。そのため、令和7年度以降も様々な発達段階や障害特性に応じたICTを活用した取組について、スキルの向上だけでなく、情報モラル等も含めた企業等と連携した取組を進める必要がある。

イ キャリア教育に関する指導力の向上

ICTを含めたキャリア教育の指導については、教員間、学部間、学校間の取組の差が大きいことが課題であるため、令和7年度以降は、教員等に対してキャリア教育の参考資料となる「兵庫県立特別支援学校のキャリア教育」ブックレット(電子データ)を研修や授業改善等で活用するなどし、引き続き教員の指導力の向上を図っていく。

ウ 特別支援教育に関する理解啓発のより一層の推進

令和7年度以降は、キャリア教育ピッチを一般県民が参加しやすい場所で開催したり、発表対象校を高等部を設置する全ての県立特別支援学校(27校)に拡充したりする。



↑ブックレット